

健康

緩和ケアとは

質問
60代の女性です。がん告知を受けてから不安で眠れない日が続いています。担当医には「緩和ケアが必要」と言われました。末期がんの治療というイメージがあり、ショックを受けました。緩和ケアとは、どんなものでしょうか。



滝沢 宏光
徳島がん対策
センター長

回答 アは、生命を脅かす疾患に直面している患者と、その

家族に対するケアです。痛みなどの身体的問題、心理・社会的問題にアプローチし、苦しみを和らげることが目的です。

質問者は、がん告知を受け、精神的ショックから不眠症状に悩んでいます。この苦しみを和らげ、がん治療に対して前向きになれる状態にするのが、緩和ケアの目標になります。具体的には▽心理士や看護師に今の心の状態を打ち明け、相談に乗ってもらう▽不眠

前向きな治療を促す



や気持ちの落ち込みの程度により、医師に薬の処方を受けることが必要です。

今後、がん治療を受ける上で、緩和ケアは必ずプラスになります。サポートを受けてはどうでしょう。

緩和ケアという言葉から、ホスピスやターミナルケアといった言葉を連想しがちです。緩和ケアは終末期医療の一つと感じる人が多いのも事実。しかし、決してがんの終末期に限って行われるものではありません。最近

は、がんと診断された時から行われるべきものとされています。国が近く策定予定の第3期がん対策推進基本計画にも、この考えが盛り込まれます。

がんが苦しむ人が少しでも減るように、緩和ケアは正しく理解され、必要な人が受けられるようにしなければいけません。

私たち医療従事者は、緩和ケアについて日々勉強しています。がん拠点病院に勤務するがん治療に関わる医

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
〈電088(634)6442〉
(平日午前8時半から
午後5時まで)へ。



師は、緩和ケア研修会を受けなければならぬとの国の指針があります。徳島大病院では、9割以上の医師が緩和ケア研修会を修了し、緩和ケア専門チームが活動しています。緩和ケアについて聞きたい、または受けたい場合は、まず担当医や看護師に相談してください。

(第4土曜掲載)

来月10日 県民フォーラム

9月10日午後1時半から、徳島大学大塚講堂(徳島市蔵本町3)で徳島県民がんフォーラムを開きます。緩和ケアをはじめ、がん患者をサポートするさまざまな体制を紹介します。問い合わせは、徳島大病院がん診療連携センター〈電088(633)7312〉。

家族もサポート 不安解消